

国民救援会岡山県本部大会

政権交代で救援会運動が新たな局面に！



9月27日(日)に国民救援会岡山県本部の第28回大会がありました。

日中友好協会岡山支部から、竹内理事長、小林事務局長、稲葉理事、倉敷支部からは山縣理事、が参加しました。小林事務局長が、中国残留日本人孤児の新支援法のもとでの課題という事について報告しました。

障害者自立支援法違憲訴訟の原告、清水さん、原爆認定訴訟の川中さん、山陽本線痴漢冤罪の山本さんが、それぞれ、訴えと報告をされました。自公政権から民主・社民・国民新党連立政権へと、変えることができました。特に、「取調べの可視化」に向けて大きく前進する可能性と、同時に巻き返しがあることを考慮に入れなければならないと本藤本部副会長から指摘されました。新しい情勢の局面を迎えての大会でした。改めて、言論表現の自由、労働者・市民を守る等の原点を確かめた大会になりました。

稲葉泰子

第81回日中文化講座は岡山市との共催で、11月3日(土)さんかく岡山の会議室に30人の参加で開かれました。



第81回日中文化講座に30人の参加

岡山での日々・佐藤をとみの恋愛 —郭沫若のロマン主義文学—

郭の創作を支えた良妻賢母

佐藤をとみの恋愛—郭沫若のロマン主義文学—の演題で、川崎医療福祉大学教授の姜波先生が約2時間にわたって講演。産婦人科医が夢だった佐藤をとみは聖路加病院で看護実習生、として働いているとき郭沫若と出会い、遠距離恋愛、郭のロマン主義詩の才能を引き出し心身ともに危機にひんしていた郭を救い、郭にとって佐藤をとみは聖母マリアでした。



郭に迎えられる岡山で同棲、女医の夢をあきらめ長男を出産します。その後も5人の子供を抱えながら苦難の生活の中で郭の創作と文学を支え続けます。戦争の間にはさんで悲劇へと変わっていく佐藤をとみの晩年までをパワーポイントをしながら熱く語っていただきました。参加者は姜波先生の話に引き込まれていました。(竹内袈)

日中
おかやま
読字 原田 親
No. 586
2009/10/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区湯島1-1-1 第2ビル3階
TEL:03-5677-1100 FAX:03-5677-1101

日中友好協会
岡山支部
〒700-8236 岡山県北區3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号119番 01250-0-3335

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8011 倉敷市連島中央1-8-1 (宮地方)
TEL:FA0860446-2711

「9・19 岡山のこぼり」に1000人参集！

—大好評、CD、書籍売場も大盛況—

2年半ぶりの一大イベント「活かせ憲法！」守れ9条！岡山のつどいは、9月19日午後1時半から岡山市市民会館大ホールで、宮本光研院長泉寺住職の開会あいさつから始まりました。

最初のきたがわてつさんは、30分という短い時間のなかで、「ロシマの有る国で」をはじめとし、「日本国憲法前文」と「元条」など、トークを交えながら平和への思いを込めて熱唱しました。

藤本義一さんは、「戦中・戦後—現在—人生を語る」と題して、自ら体験した大阪空襲で、炭化した無数の死者の姿をおして、戦争のむごたらしさを語り伝えるよう訴えました。

小森陽一さんは、政権交代をどうみるか、93、4年自民党が下野した当時の歴史的な事実を今日の事態と結びつけ、現実を明確に捉えることの大切さを迫力ある弁論で展開、9条の存在がいかに自衛隊にブレメになり、約束が果たせなかつた品だ。

キをかけてきたかを語り、会場をうならせました。最後はつさんによる「青い空は」(小森さんの母香子さん作詞)を全員で歌って感動的な結びとなりました。終了後の小森さんときたがわさんのサインセールは、大勢の人が押しかけ、飛ぶような売れ行きで、本屋さんをして、もつと仕入れておくべきだったと嘆かせました。

(岡山県9条の会ニュースより)

北京へ(7)

坪井あき子

王府井(ワンフチン)「街の入口」あたりに、雑貨店があった、おもちゃ、アクセサリーなどをごちゃごちゃと置いてあるせまい店内は動きがとれないほど中国の若い人たちがつめかけていた。

この店で私は「ほしい物」に出会った。くさりと輪っかの、マジック用品だ。以前大連で買って帰って姉に見せたら、今度大連に行ったら買ってきて」とたのまれていた品物だ。大連行きがダ

店員の娘さんに「多少銭(いくらか?)」と声をかけた。瞬間、娘さんは私をじつと見て中国語で「あなたは中国人?」ときいてきた。一まさか、日本の老婦人が中国語を—と思ったのだろう。私は愉快になった。私は日本人よ」と中国語で答えたら相手も愉快になって、交渉して値引きをしてもらって商談がまとまった。

今後、世界で「存在感」を増していくであろう中国。日本との多方面の交流もますますさかんになっていくであろう中国。中



「鳥の巣」を遠くから眺める

国語は役に立ちます。ちよつとも関心のある方は、日中友好協会の中国語講座(入門・初級クラスから上級まで9クラス)への参加をおすすめしたい。学ぶにおそいということはありません。

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

四川大地震のあとを訪ねる(その1)

息をのむ被害のすさまじさとすごい復興ぶり

栗本 泰治

この9月9日から16日まで、日中友好協会広島県連企画の「日中友好平和の旅」に参加し、昨年5月の大地震で大きな被害を受けた四川省を訪ねました。

日中友好協会倉敷支部でも街頭カンパ活動をして被災者の支援活動をしましたので、その復旧状況を会員に知らせたいと思ったのです。

広島県と四川省は友好都市関係にあり、今回の地震でも大きな支援活動をしてきました。その活動の蓄積が大き

くもの言って、被災地の子どもたちが学ぶ仮設校を訪れたり、奥地の震源地である北川県の災害現場を目の当たりにすることができました。今回の旅に参加して本当によかったと思います。

四川大地震の被害については、大体のことは知っていましたが、実際の現場を見ておどろきました。阪神大震災の30倍にもなるというM8.0の破壊力のすごさに息をのみました。

北川県の住民16万人のう



土砂で30メートル埋まった北川県の災害現場

ち、2万人が犠牲となったと聞きました。全体での被害は、死者6万9千余人、行方不明1万8千余人です。まず、その犠牲者のみなさんへ心からの黙祷を捧げました。高層ビルが倒壊し、傾き、高さ30メートルの県庁の建物が屋上部分をわずかに残して地下に埋まっています。地震後の大雨で山が崩れ、街は埋まっていました。

中国政府は、この街はそのままモリアルとして残し、北川県の住民全員を隣の安県に移住させるために新しい街作りを急いでいました。とにかくすごい復興ぶりです

私たちが案内してくれた綿陽市の人民対外友好協会のキョウさんは、このすばらしい復興ぶりは、世界中からの温かい支援と中国の社会制度や中国共産党の組織力のおかげ」と言います。また、1978年からの改革、開放政策で、国も地方も力がついてきたからだ」と説明しました。

(つづく)

第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ⑤

第80回文化講座(09・5・16)での石子順さんのお話を掲載しています。

北京に東洋一のあるいは世界一の映画博物館というのがあります。これは、05年にできたんですが、中国が映画を始めて100年目に北京郊外にできた。そこに当時、映画制作に最初に協力した日本人スタッフのコーナーが記念として特別にあるんですね。当時の日本人技術者の資料とか写真とかがあります。長春映画撮影所は、あるい

は中国は、映画の基礎を協力して築いた日本人技術者の事を決して忘れていないということなんです。例えば、お手元の資料の「花の生涯」と「戦場のレクイエム」とか「四川のうた」とか、これは全部今年日本で公開された映画ですが、このルーツをたどっていくと、長春映画になって、満州映画になって、満州映画の技術者は日本人だったとい

うことになります。これらの映画の基礎は日本人が協力したということ、中国でも高く評価されているわけです。

彼らは1953年に帰国してきました。帰国してから映画監督になった人もいます。技術者になった人もいます。毎年、長春映画撮影所は建国記念日になると必ず、そういう日本の技術者を招待しています。つまり中国人は、恩を忘れていないということなんです。

『おひとりさまの老後』を読む会

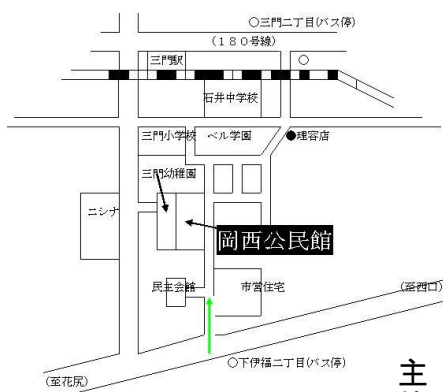
老後の社会保障を考えるための学習会

○10月31日(土)午後2時、場所：岡西公民館

講師：米田信敏さん(協立病院医療ソーシャルワーカー)

会費：資料代として100円

主催：日中岡山9条の会



小林軍治の

フランス滞在記 3

「心」と再会

リヨン6区にある娘のマンションは、外が一望できるペランダがあり、スカイプ(注)で見えて思っていたより、広く感じた。

玄関のブザーを押すと孫の「心」がドアを開けてくれ、ジーン・バーバと呼びうれしそうに顔で迎えてくれた。

二月に岡山で合った時より、髪が天然パーマで少し伸び、女の子に見えるようになっていた。おみやげのビーチサンダルや水着などを見せると大変喜んで、寝る時間であったが、興奮ぎみではしやぎまわり寝ようとはしなかった。



小林さんの孫、心ちゃん

私達夫婦は、到着がフランス時間の午後九時頃で、一日が大変長く、さすがにつかれた。

* (注)：スカイプインターネットで利用できる無料のテレビ電話。

お知らせ

☆岡山県 AALA 連帯委員会 09年度総会と学習会

10月16日(金) 18:30

岡山県民学生会館 講師：島田峰隆さん(赤旗編集局・外信部)「この目で見た中南米の変革」

連絡先：岡山県 AALA 連帯委員会

TEL 086-253-2611

☆11・3憲法公布記念のつどい

11月3日(火) 13:30

三木記念ホール 500円

講演：小川洋子さん(芥川賞作家)

博士の愛した数式」と平和への思いを語る

岡山・十五年戦争資料センター

TEL 086-273-4068 (上羽)

次回の新聞発送作業は 10月22日(木)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

和賀 林内内井 小竹竹坪